

本會抽封開時正平一月の騰立の了了取寄書第三十三分書

十、發 坐 慰 因

此、同 福來平月日 同 辛四月十一日

八、争 額 發 坐 平 月 日 同 時 十 一 平 三 月 十 二 日

子、争 額 發 坐 人 員 限 十 二 冷 丈 八 八 冷 指 一 六 〇 冷

指一六二冷

六、發 業 員 總 限 十 二 冷 ( 駁 轉 年 ) 丈 火 〇 冷 ( 車 掌 )

五、升 表 香 專 務 車 掌 發 坐 振 具 瀧 田 吉 順

四、資 本 金 正 萬 圓

三、專 業 の 懸 障 並 寄 懸 障

二、汎 查 此 八 割 市 開 味 同

一、冷 釋 此 此 世 乘 合 自 願 專 務 友 會 振

此 此 世 乘 合 自 願 專 務 友 會 振

福島人對議會福岡出張所

法財團 協調會福岡出張所

し其の路線は八幡市内を限り最も繁華な區域を占め従つて乗客も多く相當の収益を擧げつつあるが勞資の關係は必ずしも圓滑ならず過去既に二回の争議を見たのである然るに又最近九州電氣軌道株式會社經營の九州合同バス會社と合併するやの風評傳りたる爲三月末以來従業員代表は社々會社側島田社長と會見し合併問題を中心に折衝を重ね合同の場合に於ける慰勞金の支給、固定給の増額、事故積立金の拂戻等に就いて折衝したるも意見一致せず此の間島田社長の状態明確ならざるものありとして日頃同社長の態度に信頼を惜かざる従業員は總同盟九聯聯の指導の下に遂に四月十二日午後二時左の十數項目に亘る要求書を提出すると共に直ちに總罷業に訴へたのである。

十一、要 求 事 項